

授業の実際 4 / 9

(1) 指導目標

「雨のうた」の範奏を聴いたり、イ短調及びハ長調の楽譜を見たりして演奏する学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法		
導 入 ／	0 音楽遊びをする。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにした。			
	1 めあてをつかむ。	○題名「雨のうた」から曲の感じを予想させた。			
展 開	曲の感じをつかみ、「雨のうた」の主な旋律と副次的な旋律を演奏しよう。				
	2 曲の感じをつかみ、どのように歌いたいが見通しをもつ。 (1) 「雨のうた」を聴く。	○楽譜を基に、主な旋律、副次的な旋律、伴奏（低音・和音）に当たる部分と演奏の順序を確認した。 <div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">発問の工夫①</div> ○「雨のうた」の ア と イ の部分を比較聴取させ、調の違いによる和声の響きの違いに着目させるようにした。			
開	<p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0; margin-bottom: 10px;">★「雨のうた」の ア と イ の部分では、それぞれ、どのような雨の様子を想像しますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">ア の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残念な時の雨。 ・ 悲しい雨。 ・ 止やみそうにない雨。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">イ短調で暗い感じがするから。</div> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">イ の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待望の雨。 ・ 嬉しいことがあった日の雨。 ・ 新しく傘を買ったときの雨。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ハ長調で明るい感じがするから。</div> </td> </tr> </table>			<p style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">ア の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残念な時の雨。 ・ 悲しい雨。 ・ 止やみそうにない雨。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">イ短調で暗い感じがするから。</div>	<p style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">イ の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待望の雨。 ・ 嬉しいことがあった日の雨。 ・ 新しく傘を買ったときの雨。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ハ長調で明るい感じがするから。</div>
	<p style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">ア の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残念な時の雨。 ・ 悲しい雨。 ・ 止やみそうにない雨。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">イ短調で暗い感じがするから。</div>	<p style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">イ の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待望の雨。 ・ 嬉しいことがあった日の雨。 ・ 新しく傘を買ったときの雨。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ハ長調で明るい感じがするから。</div>			
(2) 聴き取り、感じ取ったことを「音楽を形づくっている要素」と関連付けながら、曲のよさや面白さをつかむ。	○楽譜を基に、調の他にどのような違いがあるのか音楽の縦と横の関係から考えさせ、曲の構造よさや変化の面白さをつかませるようにした。 ○拡大楽譜で旋律の動きを確認しながら、旋律の重なり方や伴奏の演奏の仕方の違いに気付かせるようにした。				

発問の工夫①

★アとイの楽譜を比べ、「調」の他に、どのような違いがあるか見つけましょう。

- ・アとイでは、主な旋律と副次的な旋律の重なり方が違う。(アはメヌエットのように旋律が追いかけて合っていて、イは「星の世界」のように2つの旋律のリズムが同じになっている。)
- ・アとイでは、伴奏の仕方が違う。
※アは和音で、イは分散和音の演奏になっているという意味
- ・アとイでは、「調」「旋律の重なり方」「伴奏の演奏の仕方」が違う。

展

3 主な旋律と副次的な旋律を演奏する。

(1) 曲のよさや面白さが伝わるように自分はどうのように演奏したいか見通しをもつ。

○曲の構造のよさや変化の面白さを確認し、それらが伝わるように、どのように演奏したいか考えさせた。

○主な旋律と副次的な旋律をどのように演奏したいのか、自分の考えをワークシートに書かせた。

発問の工夫②

★曲のよさや面白さが伝わるように、どのように演奏したいですか。

- ・アは、止みそうにない暗い雨の音を表現するために、淡々と追いかけるように演奏したい。イは、明るく楽しい雨の音を表すために、音を響かせながら溶け込むように演奏したい。
- ・アはやや弱く、イはやや強く演奏したい。

開

(2) リコーダーで演奏する。

●どのように演奏するかについて見通しをもつことができない児童には、友達の発表内容や板書内容を参考にさせた。

○自分が考えた見通しを基に演奏の仕方を工夫するように伝えた。
○ソ#の運指を確認した。
○CDに合わせて演奏し、イ短調とハ長調の和声の響を感じながら演奏することができるようにした。

／
ま
と
め

4 次時の学習を知る。

○次時は、伴奏の部分の演奏を工夫する学習に取り組むことを確認した。
○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めさせた。

「雨のうた」の範奏を聴いたり、イ短調及びハ長調の楽譜を見たりして演奏する学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。

【関② ワークシート・行動観察】

授業の実際 5 / 9

(1) 指導目標

「雨のうた」のイ短調とハ長調の和声の響きを感じながら、曲の特徴や面白さが伝わるような伴奏仕方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもつことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法
導 入 ／	0 音楽遊びをする。	○ケチャのリズム遊びをして、楽しく学習が始められるようにした。	
	1 めあてをつかむ。	○前時を振り返り、主な旋律と副次的な旋律をリコーダーで演奏した。 ○前時に話し合った曲のよさや面白さについて振り返らせ、本時の学習につなげた。	
展 開	イ短調とハ長調の響きを生かしながら、伴奏の仕方を工夫しよう。		
	2 イ短調とハ長調の和声の響きを感じ取りながら演奏の仕方を工夫する。	○楽譜をイ短調とハ長調の部分に分けさせ、それぞれの部分について、表現の工夫ができるようにした。 ○楽譜を基に、伴奏に当たる部分(低音、和音)と演奏の順序を確認した。 ○伴奏の部分演奏して聴かせ、イ短調の部分は伴奏が和音で、ハ長調の部分は分散和音になっていることを確認した。 ○生活班で5～6人のグループをつくり活動することを伝えた。	
	(1) 担当するパートを選ぶ。	○伴奏の部分演奏して聴かせ、低音か和音のどちらかを選ばせた。 ○パートの特徴に合う楽器を選ばせた。 〈児童の選んだ楽器〉 低音…オルガン、ビブラフォーン 和音…オルガン、鍵盤ハーモニカ	
	(2) どこを、どのように演奏したいか考える。	○前時に全体でまとめた見通しについて確認した。	
	★曲のよさや面白さが伝わるように、どのように演奏したいですか。〈前時の学習〉 ・ <input type="checkbox"/> と <input type="checkbox"/> の違いが表現できるように演奏したい。		
		○イ短調の部分とハ長調の部分を再度楽譜で確認し、それぞれの雰囲気合った演奏の工夫を考えることができるようにした。 ○自分の考えをワークシートに記入させた。 ○CDを聴きながら、考えを膨らませることができるようにした。	

展	<p style="background-color: #90EE90; padding: 5px;">発問の工夫③</p>	<p>★ 曲のよさや面白さが伝わるように、どこをどのように気を付けて演奏したいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ア は、イ短調の沈んだ感じに合った伴奏にするために、低音を大きな音にしたい。和音は、こもったような音色で演奏したい。はじめの音を間違えないようにしたい。 ・ イ は、ハ長調の楽しい感じに合った伴奏にするために、低音を小さな音にしたい。和音は、澄んだ明るい響きにしたい。 	<p>「雨のうた」のイ短調及びハ長調の和声の響き、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出す曲のよさや面白さを感じ取って演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創② ワークシート・行動観察】</p>	
	<p>(3) グループでどのように演奏したいかについて話し合う。</p> <p>(4) グループで演奏の仕方を工夫する。</p>	<p>○話し合ったことは、ワークシートの楽譜に記入させた。</p> <p>○演奏の仕方を工夫しながら、更に気付いたことはワークシートの楽譜に書き加え、グループで工夫を重ねていくように助言した。</p>		
開	<p style="background-color: #90EE90; padding: 5px;">発問の工夫③</p>	<p>★ 曲のよさや面白さが伝わるように、どこをどのように気を付けて演奏したいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ア は、イ短調の静かな感じを出すために、低音も和音も、休符を入れずに音を伸ばして演奏したい。速度は、少し遅くしたい。 ・ イ は、楽しい感じを出すために、音を切ったように演奏したい。速度を少し速くしたい。1小節目はリズムが変わるところなので、四分音符のリズムを間違えないようにする。 	<p>【創② ワークシート・行動観察】</p>	
	<p>(5) 成果発表をし、感想を伝え合う。</p>	<p>●どこをどのように演奏するかについて考えをもつことができない児童には、友達がワークシートに書いた内容を参考にさせた。</p> <p>○互いのグループの工夫点や良かったところを認め合い、自分たちの演奏に生かすことができるものは、次時の学習で参考にするように伝えた。</p> <p>○CDに合わせて演奏させることで、主な旋律や伴奏を聴き、イ短調とハ長調の和声の響きの違い感じ取りながら演奏ができるようにした。</p> <p>○ケチャの学習を振り返らせ、「雨のうた」も旋律と伴奏のリズムが同じにならないように工夫されていることを確認した。</p>		
／ ま と め	<p style="background-color: #90EE90; padding: 5px; border: 1px solid black;">「ケチャ」 振り返り</p>	<p>4 次時の学習を知る。</p>	<p>○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めるようにした。</p>	<p>👉ここをクリック</p>

授業の実際 6 / 9

(1) 指導目標

「雨のうた」の各声部の音やイ短調とハ長調の和声の響きを聴きながら、自分の音を友達のと調和させて合奏ができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法
導 入	0 音楽遊びをする。	○ミュージックベルで和音づくりをして、楽しく学習が始められるようにした。	
	1 めあてをつかむ。	○「雨のうた」の範唱を聴き、合奏のイメージをつかませるようにした。	
展 開	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">イ短調とハ長調の響きの違いを生かして、合奏をしよう。</div>		
	2 イ短調とハ長調の和声の響きを感じ取りながら演奏の仕方を工夫する。 (1) 担当するパートを選ぶ。 (2) グループで工夫するポイントや気を付けることを話し合う。	○グループで工夫をした後に、全体で工夫することを伝えた。 ○生活班で6～8人のグループをつくらせた。 ○主な旋律と副次的な旋律を担当する児童には、4・5時目の学習を生かして、演奏の仕方について考えるように伝えた。 ○グループで表現の工夫がうまくできなかったことを振り返らせ、本時で工夫するポイントを2～3つ決めさせた。 ○グループごとに気を付けることについて考えさせ、目的をもって取り組むことができるようにした。	
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">★グループで、工夫のポイントを3～4つ決めましょう。</div>		
	工夫の仕方の例 <工夫するのポイント> ・ ア と イ で速さを変える。速さが合うように演奏したい。 <気を付けること> ・メトロノームを使って、どれぐらいの速さが一番いいのかを話し合ってから歌う。 [助言] ・演奏するように歌いながら手拍子を打って、速さをつかむ練習をする。 ・はじめは、低音の人が「1・2・3・4」と速さを声に出して速さをそろえる。	○工夫のポイントや気を付けることの例を示したり、助言したりした。	

○楽譜でイ短調の部分とハ長調の部分を確認し、それぞれの雰囲気合った表現の工夫を考えることができるようにした。

発問の工夫④

★曲のよさや面白さが伝わるように、それぞれの工夫のポイントについて、どのようなことを気を付けて演奏すればよいと思いますか。

<工夫するポイント>

- ・音を間違えないように演奏するようになる。

<気を付けること>

- ・二人で互いの音を聴いて、間違った音を出していないか確認しながら演奏する。

<工夫するポイント>

- ・主な旋律が目立つような演奏にする。

<気を付けること>

- ・リコーダーの人数を多くする。演奏しながら何人がよいかを決める。
- ・オルガンの音量レベルを下げて演奏する。演奏しながら、ちょうどよい音量になるようにする。

<工夫するポイント>

- ・**ア**は、全体的に音を弱くして、イ短調の静かな感じを出したい。
- ・**イ**は、全体的に音を強くして、ハ長調の明るい感じを出したい。

<気を付けること>

- ・他のグループに演奏を聴いてもらい、強弱が表現できているか評価をしてもらうようにする。

展

開

(3) グループで演奏を工夫する。

○練習に必要なものがあれば、必要に応じて使用してよいことを伝えた。

- ・メトロノーム ・カスタネット
- ・キーボード ・レコーダー

○活動の様子を見て、適宜、助言した。

○30分後に成果発表をすることを伝えた。

○時間短縮のために、部分的に練習するように伝えた。

○感想や助言を伝え合う時間を確実に確保するために、2つのグループで聴く側と演奏する側になり活動させる場を設けた。

○工夫のポイントについての自己評価をワークシートに書かせることで、目的をもって練習ができるようにした。

○表現の技能を高めさせるために、感想だけの交流にならないよう適宜、助言した。

「雨のうた」の各声部の音やイ短調とハ長調の和声の響きを聴きながら、自分の音を友達の音と調和させて学校している。

【技② ワークシート・演奏聴取】

